

令和4年1月から 水道料金を改定（値上げ）します

飯塚市の水道料金は、旧飯塚市において平成13年4月に改定を行って以来、今日まで改定することなく現行料金を据え置いてきましたが、この度、約20年ぶりに水道料金を改定します。

水道は市民生活を支える大切なライフラインであるため、将来にわたり安全な水道水を安定的に供給し続けなければなりません。

連載4回目の今回は、施設の更新や財源の確保など、将来に向けた目標設定についてお知らせします。

第4回 将来に向けた目標設定

1 今後の更新費用（投資）に関する目標設定

	今後40年間の更新費用	取組内容	目標
施設・設備	278.7億円	・平準化年数の変更 40年→10年毎	6.2億円/年
管路	219.8億円	・平準化年数の変更 40年→20年毎 ・重要管路に集中	6.8億円/年
合計	498.5億円		13.0億円/年

安定した水道水の供給を維持するために、今後10年間の更新費用を「施設・設備」に6.2億円、「管路」に6.8億円、合計13億円とします。

今後は実使用年数に応じた効率的な更新や、更新費用の平準化、管路の重要性や避難所等の重要給水施設への供給管路等を優先して更新するなど計画的に更新を行っていきます。

2 財源に関する目標設定

○企業債（借金）残高に関する目標設定

目標
【給水収益に占める企業債残高の割合】 (企業債残高/給水収益)
300%を少し上回る程度

給水収益に占める企業債残高の割合を「300%を少し上回る程度」とします。これは、老朽管の更新にかかる国庫補助要件の一つを満たすようにするためです。令和2年度末現在で割合は、472.74%となっており、本来であれば、借金は少ない方がよいのですが、効率的に老朽管を更新していくために国庫補助等を活用していきたいと考えています。

○内部留保資金（貯金）に関する目標設定

目標	
長期目標	短期目標
60億円程度 (事業費の50%程度)	23億円

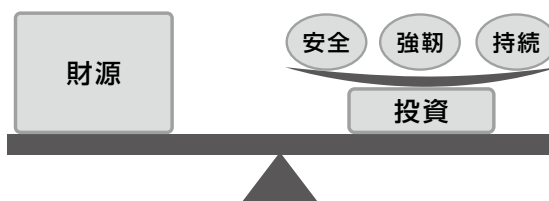
内訳

内訳	金額		備考
	5年後	10年後	
運転資金	6億円	6億円	企業債元利償還金相当額
災害事故等緊急対応	4億円	4億円	更新費用の30%
建設改良積立金	5.7億円	13億円	浄水場建替費用積立金
合計	15.7億円	23億円	

内部留保資金（貯金）は、長期目標として60億円程度、短期目標として23億円の確保を目指します。

長期目標は、令和21年度以降に予定している浄水場等の大規模更新事業費の半分程度を自己資金で賄い、同更新にかかる企業債（借金）が膨らまないよう、資金を積み上げるものです。

また、短期目標は、運転資金として6億円、災害等が起こった時の緊急対応のための資金として4億円、長期目標を達成するための積立金を5年後に5.7億円、10年後に13億円確保するものです。



安定した水道水の供給を維持するための最低限度の投資目標を立て、財源とのバランスをとるよう目標設定しています。ご理解とご協力のほどよろしくをお願いします。



お問い合わせ 飯塚市企業局 企業管理課
☎22-0380 (内線 2205)

料金改定について、詳しくは市HPにも掲載しています。ご覧ください。